

1. 研究課題名： アジアの民生用エネルギー需要構造と将来予測に関するプラットフォーム構築

2. 研究代表者氏名及び所属：
中上 英俊（株式会社 住環境計画研究所）



3. 研究実施期間：平成 27～29 年度

4. 研究の趣旨・概要

本研究では、東南アジアにおける民生部門のエネルギー消費実態に関する共通のデータベースを構築し、モデルを用いた将来予測と発展段階に応じた政策や対策の効果検証ができる Web ベースのプラットフォームとそれを活用する国際研究者ネットワークを構築する。

(1) 民生部門のエネルギー需要構造の収集と分析

ベトナム、タイ、カンボジアの三カ国の家庭部門、および業務部門（試行としてベトナムとタイの事務所）を対象として、「エネルギーの量」と「生活の質」に関連するデータベースを整理する。

(2) プラットフォームの構築と活用に関する研究

構築したデータベースを元に、将来予測のための推計モデルを開発し、経済的、社会的要因に関する将来動向を含めた、各国の発展段階に応じた二酸化炭素排出量を削減するシナリオと方策を国別に導き出せるプラットフォームを構築する。

5. 研究項目及び実施体制

研究実施拠点 株式会社住環境計画研究所 中上英俊（研究代表）

【プラットフォームの構築と活用に関する研究】

計画手法、運営方法などに関する情報の発信

エネルギー消費の将来推計モデル開発と将来予測

二酸化炭素排出量を抑制するための国別の対策の提案

高口洋人（早稲田大学）

【カンボジアのエネルギー需要構造の収集と分析に関する研究】

村越千春（株式会社住環境計画研究所）

【ベトナム、タイのエネルギー需要構造の収集と分析に関する研究】

国内研究グループのサポート

張 晴原（滋賀県立大学環境科学部・教授）、外岡 豊（埼玉大学経済学部・教授）、リザル・私・バハドゥル（東京都市大学環境学部・准教授）、北原 博幸（トータルシステム研究所）、高 偉俊（北九州市立大学国際環境工学部・教授）、久保田 徹（広島大学大学院国際協力研究科・准教授）、赤司 泰義（東京大学工学系研究科・教授）

6. 研究のイメージ

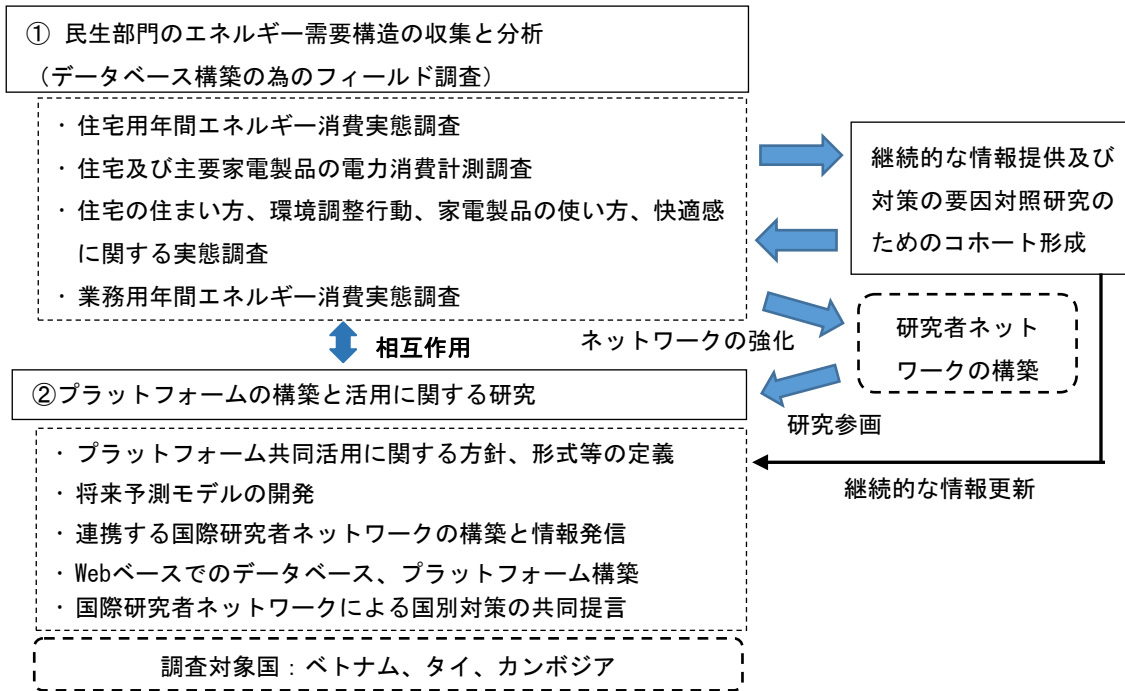


図. 1 研究フロー

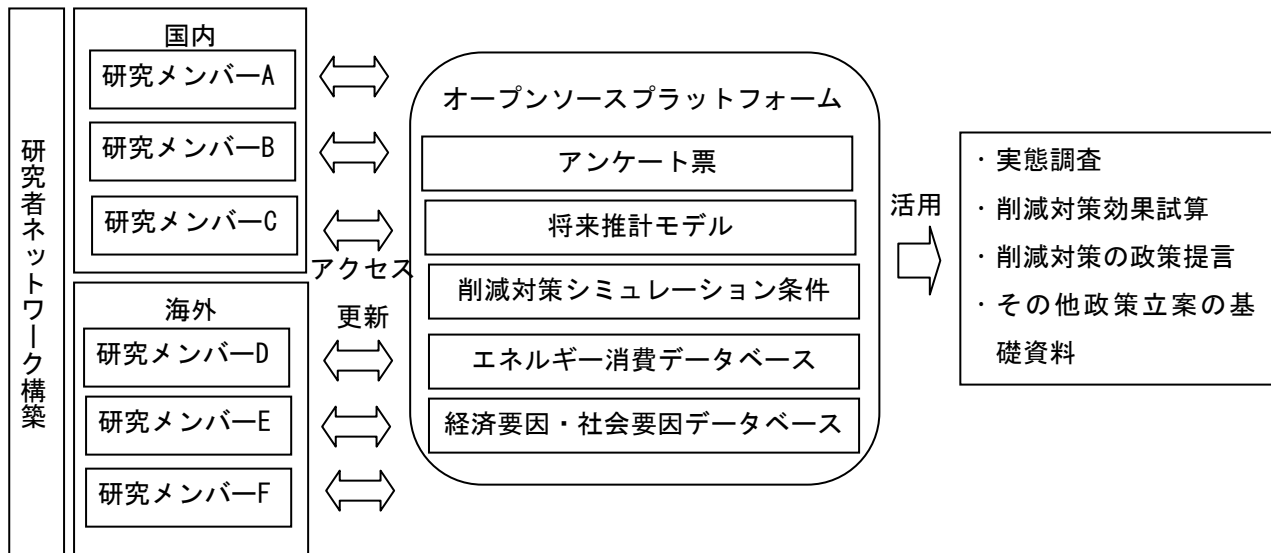


図. 2 プラットフォームのイメージ